

令和6年度

第2回社会福祉法人熊本市社会福祉協議会評議員会議事録

期日 令和6年12月16日（月）

場所 熊本市健康センター新町分室 2階 多目的室

令和6年度第2回社会福祉法人熊本市社会福祉協議会評議員会議事録

開催日時 令和6年12月16日(月) 10時00分から

開催場所 熊本市健康センター新町分室 2階 多目的室

評議員定数 14名

出席評議員 13名

松瀬 美智子	小夏 敏明	若松 真由美	植村 米子	田辺 正信
川田 秀子	徳永 航太	鬼塚 和典	石元 典子	高江 康明
吉村 明儀	谷口 憲治	西村 まりこ		

欠席評議員 1名

高本 文明

出席監事 1名

吉井 壮馬

欠席監事 1名

荒木 紀代子

議長 西村 まりこ

議事録署名人 松瀬 美智子 川田 秀子

議事録作成者 中川 和徳

議 題

議案第 1 号 社会福祉法人熊本市社会福祉協議会理事の選任について

報 告

報告第 1 号 第 5 次熊本市地域福祉計画・地域福祉活動計画（素案）について

報告第 2 号 熊本市社会福祉協議会中期経営計画（素案）について

※各議題における特別の利害関係 無し

《議事の経過とその要旨》

石川主査より開会宣言。小山 登代子 会長挨拶の後、社会福祉法人熊本市社会福祉協議会定款第15条第1項の規定により議長の選出。高江 康明評議員より「西村 まりこ 評議員を議長に」との提案があり、西村 まりこ 評議員が議長に就任した。

議長は、早速事務局に出席者の報告を求めたところ、事務局より定数14名のうち、出席者13名、欠席者1名により、定款第16条第1項の規定により評議員会が成立する報告がなされた。

議長は評議員の同意を得て、松瀬 美智子 評議員、川田 秀子 評議員を議事録署名人に指名し、直ちに議事の審議に入った。

議長

それでは、これより議事に入ります。

議案第1号 社会福祉法人熊本市社会福祉協議会理事の選任について事務局より説明をお願いいたします。

総務部長

【議案第1号 議案書1～3ページ及び社会福祉法人熊本市社会福祉協議会理事候補者（別紙・当日配付資料）に基づき説明】

議長

ただいま、事務局説明がございましたが、何かご質疑はございませんか。

（質疑・意見等なし）

議長

それでは、ご意見がないようでしたら、議案第1号につきまして採決したいと思います。ご同意いただける方は挙手をお願いいたします。

（承認評議員挙手）

ありがとうございます。全会一致ということで議案第1号は承認されました。

議長

それでは、報告に移ります。

報告第1号 第5次熊本市地域福祉計画・地域福祉活動計画（素案）について、報告第2号 熊本市社会福祉協議会中期経営計画（素案）について事務局より一括して説明をお願いいたします。

事務局長

【報告第1号及び報告第2号 資料1・資料2に基づき説明】

総務部長

地域福祉部長

総合相談部長

議長

ただいま、事務局より説明がありましたが、何かご質疑はございませんか。

田辺評議員	熊本市社会福祉協議会は、正規職員は何名いるのでしょうか。
総務部長	正規職員は40名弱でございます。また、後ほど、ご報告する予定ですが、今年、新規採用試験を行っており、2名採用予定でございます。
田辺評議員	ちなみに30年前は何名の正規職員がいたのでしょうか。
総務部長	平成3年に旧飽託郡4町が合併した頃かと思いますが、20数名だったと記憶しています。
田辺評議員	熊本市が政令市になりましたが、福岡市、北九州市、熊本市、各社会福祉協議会の職員はどれくらいいるのでしょうか。
総務部長	本市が極端に少ない状況です。事業規模が違いますので、一概に比較はできないかなと思います。
田辺評議員	<p>説明があったこの計画を推進するにあたっての推進能力が、どの程度あるのかと思いましたが、お尋ねしました。ちなみに区の事務所は正規の職員が3名、嘱託職員が2、3名だったと思います。南区は、人口が八代市と同規模です。八代市と同規模の南区を5、6名で対応している。全ての区を合わせれば、市全域を正規15名の職員、嘱託職員15名、約30名の職員で地域の業務に対応されているという状況です。</p> <p>この資料は、的確に把握され、必要である事業が網羅されていると思います。しかし、率直に言って、進めることが出来るのか疑問に思います。計画を進めるには、地域の各関係団体との連携も必要になると思いますが、お金がなければ前に進めることは出来ません。社協では、事業を進める人件費は出ますが、運営費や経費は出ていません。人材と経費は一体的なものです。補助金制度の関係上、そこに線引きがしてあると思います。この財政的な問題点について、熊本市にも理解していただき、支援をいただければ、この計画を進めることは余りにもハードルが高いように思いますが、いかがでしょうか。</p>
総務部長	資料14ページに行政とのパートナーシップについて記載しておりますが、今年度から月に1回、事務局長をはじめ総務課職員と、主管課であります熊本市健康福祉政策課の課長以下、副課長、主幹を交え、協議を行っております。また、田辺評議員のご指摘のとおり、市からの依頼も増えているのが現状であります。本会としても、可能な限り対応したいと考えておりますが、人的体制が確立していない問題がございます。この課題については、主管課とも認識を共有しており、来年度予算において、粘り強く交渉を進めています。
田辺評議員	熊本市は福祉に対して厳しい、老人会に対してもそうですが、政令市になりまし

たけれども、熊本市は他の政令市であります福岡市や北九州市に比べますと福祉の人的配置の格差が大きい。熊本市では、福祉に回すお金がないという実態の中で、人的体制についてどうにかなるのかという話を石元評議員に伺いたいと思います。

石元評議員

今年度、事務局と担当課間の情報共有はこれまで以上に頻繁に図っているところであり、厳しい体制の中で業務遂行頂いていることも認識しております。その中でも優先順位を付けながら、必要なものはどこから手を打っていくのかということもしっかり話をさせていただいております。詳しい話は出来ませんが、現在、次年度に向けて体制強化できるよう財政当局と交渉しております。また、本市において、福祉に関する予算が伴わないという声につきましても、財政当局に対して粘り強く要求を続けていきたいと考えております。

田辺評議員

このまま行くと私どもの組織もそうですが、地域団体が5年後に存続の危機に瀕すると危惧しています。その原因はこの計画に記載されている通り、人材の不足が深刻化しているためです。計画の中にも福祉教育とありますが、これまでの福祉教育が十分に成果を上げていない結果が、足元しかみない社会を生んだのだと思います。

先日、訪問した老人会では、参加者は全て80代であり、新規加入が見られない状況でした。このことから、近い将来、多くの地域団体が消滅してしまう可能性が懸念されます。また、社協を支えている自治会や民生委員においても成り手不足が深刻化しており、危機意識を持っています。最終的には、地域団体、また、地域団体の要である社協が元気でないといけないと思います。

最後になりますが、企業等の会員確保に繋がる取り組みについて説明がありましたが、少ない職員体制で大変だと思いますが、こういう所からお金を集めていくしかないのかなと感じました。

議 長

現場の課題、問題提起をありがとうございました。
他に何かご質疑ございませんか。

植村評議員

現在、地域には沢山の外国の方が暮らしておられます。先日、熊本市国際交流会館での懇談会では、地域に貢献したい、交流の機会を求める声がありました。

本計画において、外国の方々と具体的に一緒に取り組むようなものも必要かと思えます。私の地域では、外国の方々にも協力をいただきながら取り組む行事もあります。言葉の壁や様々な課題はあるかと思えますが、取り組んでいただけないかと思えます。

地域福祉部長

11月の地域福祉審議会地域福祉分科会において、委員長より、本市の地域には多くの外国人が居住している現状を踏まえ、第5次計画に盛り込むべきのご提言がありました。また、外国人学校がない点も課題として挙げられ、市長や社協会長の挨拶においてこの問題に触れることとなりました。

社協におきましては、地域のふれあいサロンに外国の方々に訪問いただき、異文化交流を進めることで次年度以降、計画しているところでございます。

議 長

ありがとうございました。

新たな課題、将来ビジョンが見えてきたと思います。貴重なご意見ありがとうございます。

他に何かご質疑ございませんか。

谷口評議員

この計画は立派なものだと思います。何も異論はありません。地域の実情を少しお話させて頂きたいと思います。

私たちは、お年寄りの方々のために、周辺の自治体に対してお願いに回っております。植木町は、合併して生活インフラが壊れてしまいました。所謂、交通難民、買い物難民です。今、北区の人口が一番減っています。その中でも植木町では、毎月300人が町外に転居しています。小さな子どもは入っていません。私は、選挙管理委員をしていますが、選挙人名簿の減少が毎月200から300人程度あり、これは、自然減ではなく、社会減による人口減少です。何故かと言いますと、公共交通機関を利用できない方が5割程度います。それから、スーパーまで5km以上距離がある方が5割程度います。中には、10km以上距離がある方も1割程度います。バスが4時間に1本しか通らないという地域も多くあります。近隣の小さい町村は交通難民、買い物難民の方々に対しても充実しており、残念で仕方ありませんが、玉東町に移住したいという方が多い状況です。先日も玉東町の前田町長に会ってきました。植木町では暮らせないことから、玉東町に移住したいという高齢者の事で、お金もないので町営住宅に入れてくださいとお願いに行ってきました。そんな事をやっています。

社協に対しての意見ではなく、熊本市にもう少し考えていただきたいと思います。愚痴になりました。回答いただく必要はありません。

司 会

ありがとうございました。地域の現状をお聞きして、大変参考になりました。

他に何かご質疑ございませんか。

松瀬評議員

正会員を増やす方法として、熊本市東区において地域力パワーアップ大作戦という事業が実施され、大成功いたしました。この事業を5区全てに広げようとされています。この事業は社会に貢献したい、何をしていいかわからない地域の企業、事業所に参加いただくものです。このような機会に区の社協も申込用紙を持参し、配付されてみてはどうかと思いました。

議 長

ありがとうございました。

他に何かご質疑ございませんか。

高江評議員

事業費があっても運営費がないという状況に、今後の社協の運営に対して心配に

思いました。そこで、松瀬委員からもありましたが、会員の確保に向けて本気で取り組んでいく必要があると思います。しかし、社会貢献までお金を回すことが出来ない厳しい法人や企業が多い中で、その難しさも感じます。いかにメリットがあるのか見えると協力が得やすいのかなと思いました。

この計画に関しては、複雑多岐に渡って様々な事をされているのが良く分かりました。ただ、社協として全部やらなければならないことは理解しますが、30数名の正規職員で全て行うことは非常に難しいと思います。総合相談業務もされている中で、スーパービジョンとありましたが、この人数で本当に出来るのか難しい。

他の自治体の社協がどのように予算が付いているか分かりませんが、職員が揃わないとこの計画全てを実施していくことは難しいと思います。

議 長

貴重なご意見ありがとうございます。

間口は広く、丁寧に対処するという事は深いサービスが必要で、現場の職員が過重な仕事を抱え込まないように願うばかりです。

他に何かご質問ございませんか。

吉村評議員

たびたび計画に出てきますSNSにつきまして、現在、社協が使用しているものは何がありますか。

石川主査

現在、Facebook がございますが、うまく運用出来ていないのが現状です。昨年度、広報委員会を設置し、対象者に広く伝わる SNS の活用等色々な検討を進めている状況です。

吉村評議員

今の時代 SNS で人を集めることが出来ますし、ターゲットに応じて媒体を使い分け、ボランティアの募集に繋がると思いますし、フォロワーが増えれば企業にも繋がり会員の確保にも繋がると思います。余りお金もかけずにやれることだと思いますので、広報委員会を立ち上げられたということであれば、しっかり進めていただきたいと思います。

議 長

ありがとうございました。

他に何かご質問ございませんか。

(質疑・意見等なし)

議 長

それでは、続きましてその他になりますが、事務局からお願いいたします。

総務部長

【令和6年度社会福祉法人熊本市社会福祉協議会職員採用試験結果について
(報告)】

議 長

ありがとうございました。

それでは、これもちまして議長の任を解かせていただきたいと思います。皆様
ご協力ありがとうございました。

(議長退席)

司 会

西村評議員には、議長をお務めいただき、ありがとうございました。
以上をもちまして、令和6年度 第2回評議員会を閉会いたします。
本日はありがとうございました。

令和6年12月16日

議 長 _____ (印)

評 議 員 _____ (印)

評 議 員 _____ (印)